

2. 会員活動紹介

2022年度活動助成を行なった3団体の活動概要をご紹介します。

船場博覧会実行委員会－船場博覧会 2022

11/17～23 開催 会場：芝川ビル及び北船場周辺

北船場に残る近代建築などを会場に、船場の豊かな歴史や文化を楽しむプログラムを多数開催しました。

感染症対策で受入人数が限られましたが、事前申込要のプログラムでは定員の3倍の応募があるなど、多くの関心を集めるイベントとなっています。



船場のレッドカーペット・三休橋筋のまち歩き&グルメ



船場MUFG寄席



菊寿堂義信のお菓子づくりワークショップ

中船場活性化連絡会－せんばパーク花火 2022

10/1 開催 会場：久宝公園及び隣接駐車場

新しいマンション居住者等との交流や、公園利活用を通じた中船場地域の活性化を目指して、手持ち花火を楽しむイベントを開催しました。花火のほか、水消火器体験や遊び屋台、キッチンカー等を実施し、親子連れを中心に約800名の方に来場いただきました。

また、本取組は、大阪市パークファン事業にも選定されました。



手持ち花火の様子



手持ち花火の受付の様子



遊び屋台の様子

堺筋を考える会 準備会

「堺筋」は大大阪時代の船場を代表する象徴的なエリアであり、現在でも当時の建物が各所に残り、企業集積も残っています。これら地域資源を活かしつつ、御堂筋、船場各所で動くまちづくりと連携する新たなまちづくり組織の構築を目指して活動を実施しています。

2022年度は、堺筋を語る講演会、組織設立準備を行いました。



堺筋を語る講演会の様子

船場倶楽部

SEMBA CLUB Annual Report 2022



「船場倶楽部」では、船場の歴史・文化・暮らしを育みながら、良好な景観・美観を創出し、まちの魅力向上と賑わいづくりに貢献するため、船場地区内の地域連合振興町会、商業団体、社寺、法人企業、そして地域まちづくり団体などが連携協力し、船場地区全体に亘る課題について、検討し解決に努めることを目的として活動しています。

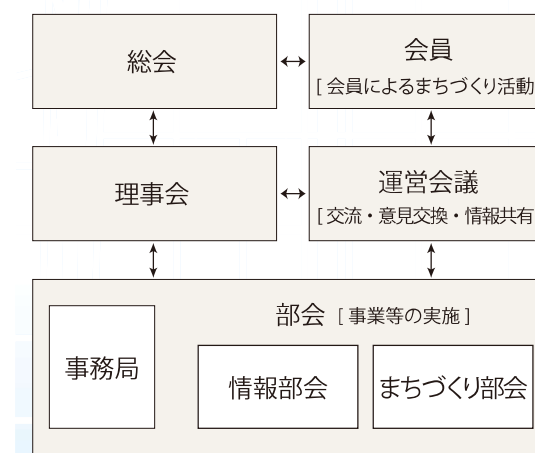
2022年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、交流活動等は満足に行うことができない一年となりました。

しかし、重点事業として掲げてきました「船場まちづくり検討会」による道路空間の再編に向けた「社会実験」の実施、及び「まちの将来ビジョン」の検討に関しては、日程の設定や感染対策に留意して実施、一定の成果を上げることができましたのでご報告します。

活動内容

- 1 まちの課題を解決し、新しい都心像に挑戦
- 2 柔らかな連携と交流を育くむまちづくりを発展
- 3 開かれた船場の窓口
- 4 船場の情報発信

組織体制



役員等 (2022年度)

- 特別顧問 橋爪 紳也 (大阪市特別顧問 | 大阪府立大学研究推進機構教授 | 大阪府立大学観光産業戦略研究所所長)
- 理事長 大橋 達夫 (集英連合振興町会)
- 副理事長 田中 雅人 (大阪ガス(株))
- 理事 川上 潤 (愛日連合振興町会)
- 理事 前田 葉子 (渥美連合振興町会)
- 理事 源 裕次 (船場センタービル連盟)
- 理事 池田 吉孝 (船場博覧会実行委員会)
- 理事 山口 浩之 (道修町まちづくり協議会)
- 理事 渡邊 紘一 (坐摩神社)
- 理事 中塚 一 (地域計画建築研究所)
- 理事 畑中 一起 (大阪シティ信用金庫)
- 理事 辰野 光彦 (辰野(株))
- 会計監事 古山 昭 (せんば心齋橋筋協同組合)
- 会計監事 玉野 淳 (船場中央税理士法人)
- 事務局長 谷口 康彦

会員 (2022年3月末時点)

- 正会員 72名
- 賛助会員 66名
- (連合振興町会、商店街、まちづくり活動団体、寺社、法人、個人)

お問い合わせ



船場倶楽部
SEMBA CLUB

- 船場倶楽部に関するお問い合わせ
Mail/info@sembaclub.com
- 船場倶楽部ホームページ
www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約したポータルサイト



船場ナビ
https://semba-navi.com



1. 活動報告

まちの将来像の検討

2021年度に引き続き、新しい時代の都心像の具体化に向けて、国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の補助金等を活用し、以下の取り組みを行いました。

「船場まちづくり検討会」による未来ビジョン策定

行政、学識経験者とともに立ち上げた「船場まちづくり検討会」において、社会実験や地域の意見を踏まえ、船場のまちづくりを牽引する未来ビジョンの策定しました。今後、船場倶楽部では、当ビジョンに基づき、オープンエア空間での交流から新たな価値を生み出す「都心共創地区 CCD～Central Co-creative District」を目指して活動を進めていきます。



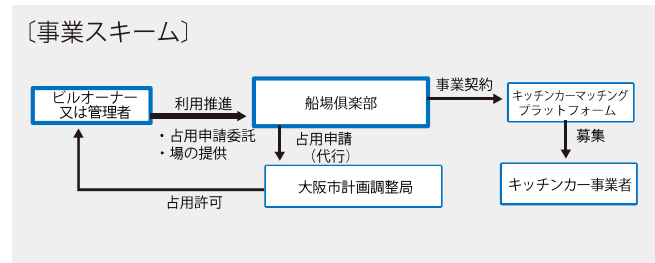
社会実験—高麗橋 Open Street | 11/17～19開催 場所：高麗橋2丁目
主催：船場博覧会実行委員会・船場倶楽部

道路の新たな活用形態として、カーブサイドマネジメントの社会実験を実施しました。通過交通の進入を抑制し簡易な柵で必要な車両だけを通行させ流ことで、歩車分離施設のない歩車共存の道路形態を創出し、船場に乏しい滞留空間づくりの有効性を検証しました。



公開空地の常設的利活用を目指したモデルプロジェクト | 11月～実施 場所：サンビル備後町／トレードピア淀屋橋

船場に数多くある公開空地に着目し、長期的な賑わい創出に向け対象の現地調査を実施しました。エリア内の公開空地データ作成後、条件設定による選定・交渉などを経て、船場倶楽部が事業主体となり、キッチンカー出店と合わせた賑わい創出を行うモデルプロジェクトを実施しました。



船場フォーラム 2022「オープンマインドコア船場」開催 | 10/23開催 会場：南御堂 同朋会館

「船場まちづくり検討会」で検討した「まちの将来像（未来ビジョン）素案」を地元地域に共有し、意見収集を行う機会として開催しました。事前に開催した地域別意見交換会を踏まえ、6つのテーマを設定。テーマ別に分かれ「未来ビジョン」を実現していくための具体的な取組について話し合いました。



まちづくり部会

2022年度は、まちの将来像の検討に取り組んだほか、大阪市が設置した「御堂筋協議会」「大阪エリアマネジメント活性化会議」に参加し、情報共有や他地域との連携交流を行いました。

情報部会

船場「まちの案内板」の設置

船場の魅力を伝えていくための案内板の設置を進めています。2022年度は、地権者案内板2基の作成に取り組みました。



船場ナビ（ウェブサイト・SNS）の運営

前年度に引き続き、SNS(Facebook, Instagram)で船場の魅力や日常風景を「船場つうしん」として発信し、その内容を船場博覧会でポスター展示しました。また、情報の充実を図るため、2019年度提案コンペ最優秀作品のアイデアをもとに、フードロスの視点で飲食店を紹介するウェブサイトを作成しました。



船場ガイドブック 2022の発行

第11号にあたる2022年度版よりデザインをリニューアルしました。今号では、「船場を継ぐ」をテーマに特集しました。



活動助成制度

まちづくりや交流の新たな芽が育つよう、会員を含む新規活動団体や、会員団体間の連携による新たな活動に対する助成制度を設けています。2022年度は、3団体に活動助成を行いました。

運営会議の開催

船場倶楽部の実施事業に関する進捗報告や意見交換、会員間での情報交換を行うための運営会議を開催しています。2022年度は3回の会議を開催しました。